



おもちつき

餅つきの由来は、奈良時代の記録によると「伊勢神宮などに鏡餅が備えられていた」と書かれています。餅を食べる習慣は、武家の年中行事が商家へと伝わり、商家から農家へ。農家では、神仏や農具に餅を供え、豊作と家内安全を祈ったそうです。

園では、6日にみ仏様にお供えするために餅つきをします。

今年も係の皆さんのお手伝いを頂いて、開催いたします。

ばんだ組さんからつきたてのお餅を丸めます。詳細については、後日きっぷノートでお知らせします。



お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。年中組のお当番さんは、使った雑巾を机用と床用に分けて、洗濯機まで持ってきてくれます。「ありがとう」と言うとても誇らしげです。どんなお手伝いでもいいのです。二度手間になると思われるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。

各クラス、子どもたちと一緒に年末の大掃除を計画しています。



令和5年

12月の園だより



輝くすいこう卒園

11月18日に4年ぶりに制限なしで開催いたしました『すいこうわくわくランド』は、今年一番の寒気が舞い降りた中での開催となりました。早朝より、係の保護者の方は、体を震わせながら、準備して下さり、保護者の皆さんも寒い中でしたが、ご家族でお越し下さり、賑やかに開催することができました。今年も乳児さんの作品会場は、日頃遊んでいるコーナーばかりでしたので、小さな子どもたちは戸惑うことなく、いつも通り好きなあそびを楽しみ、特に2歳児さんの神楽好きなお子さんは、保護者に神楽のお囃子に合わせて、思う存分舞っている姿を見ていただき満足そうにしていました。幼児さんは、年長さんを中心に「どんなわくわくランドにしたいのか」、「何があったら楽しいのか」など、何度も話し合ったり、作っている途中でも「こんなのがあったらみんな喜びよね」など思いを語りあったりしながら進めてきました。運動会同様、自分たちの思いが溢れている作品会場でしたので、得意そうに保護者に説明したり、遊んだりする姿がありました。その様子を暖かなまなざしで見守ってくださる保護者の皆さんの姿を嬉しく思いました。ゆっくりと食事を召し上がっていただく場所もなかったのですが、皆さん笑顔で「大丈夫ですよ」とか「楽しいですよ」と言って下さり、心から感謝しております。すいこうは、『子どもがまん中の保育』をいつも実践していきます。

いろいろな場面で子どもたちのお手本になってくれている年長さんは、小学校に向けての行事も増えていきます。先日、口田東小学校で、年長さんが5年生と交流会をし、その後1年生の授業を参観させていただきました。5年生の教室には卒園児もあり、こちらをちらりちらりと見ています。休憩時間には5、6年生が近寄ってきて「園長先生、久しぶり」と大人のような口ぶりで声をかけてくれましたが、顔を見ただけではすっかりお兄さんお姉さんになっていて誰かわかりません。名札の名字を見ると下の名前が浮かんできて「Y君、背が高くなったね」などと声をかけてあげることができました。みんな礼儀正しく、交流会でもいろいろなパズルを用意してくれており、子どもたちを楽しませようという気持ちが伝わってきました。1年生の教室に行くと図形の授

業が行われていました。卒園児は、こちらを見ては、小さく手を振ってくれます。Yくんも同様に小さく手を振り、満面の笑顔を見せながら、先生の話をしっかり聞いています。丁寧な言葉で発言もしており、そのことを保護者に話すと、「うちの子だけではないですよ。すいこうの子どもたちは、みんなしっかり前を向いて、先生の話聞いていますよ」と教えて下さいました。また、地域のサッカーチームに入っている4年生のお母さんから「地域の大会で優勝しました。レギュラーの中に3人もすいこうの卒園児がいるのよ」と、自分のお子さんのことですが、すいこうの卒園児のことを自慢そうに話してくれました。別のお母さんは、運動会の選手リレーで「すいこうの子がチームの中に3人もいるよ」とやはり卒園児のことを自分の子どものように話してくれました。私は、「すいこうの卒園児がね…」と、自分のお子さんのことだけではなく、すいこうの卒園児のことを気かけ、嬉しそうに話して下さること、卒園してもたくさんの方々に見守られて、育てられていることを何より嬉しく思ったのです。

すいこうでは、一人ひとりのやりたいこと、興味を持ったことなどをとことん追求し、満足できるまであそび込める環境を大切にしています。そういう経験を繰り返すことで、今自分が何をしなくてはならないか、状況判断ができ、様々なことにあきらめないう取り組める子どもに育っていきと考えています。すいこうを卒園した子どもたちは、そういった目には見えないけれど、とても大切な力をもって卒園し、またその力を存分に発揮して小学校生活を送っているのだと嬉しく思います。そして、それを支えてくださる保護者、地域の皆さんに心より感謝しております。これからも一人ひとりの好きなこと、得意なことにしっかり寄り添い、一人ひとりがきらりと輝く園となるよう取り組んでまいります。

これから寒さも厳しくなり、年の瀬という事であわただしい日々を過ごされることでしょうか。今は、コロナよりインフルエンザやアデノウイルスによる発熱などが流行しています。どうぞ、感染対策などに気を配りながら、ご家族揃って楽しく新年を迎えられますことを心より願っております。

園長 上原玲子

すいこう認定こども園

子育てメッセージ

星とたんぽぽ

青いお空のそこらへん
海の小石のそのように
夜がくるまでしずんでる
星のお星はめにみえぬ
見えぬけれどもあるんだよ
見えぬものでもあるんだよ

ちってすがれたたんぽぽの
かわらのすきに、だあまって
春がくるまでかくれてる
つよいその根はめにみえぬ
見えぬけれどもあるんだよ
見えぬものでもあるんだよ

金子みすゞ 詩集より

見えないけれど大切なものが
たくさんあるのですね。

＜年越しに食べるもの＞



年越しそばは、江戸時代ごろから食べられていました。その由来については、さまざまな説があります。

- ・そばの実が三角形なので、邪気を払う
- ・そばは、細くて長いので長寿になるように

などがあります。また、地域によっては、年越しにうどんや、さけやぶりなどの年取り魚を食べる風習があるそうです。